

2/6(水)『たべること』は『いきること』～校長講話～



毎日の食事を見つめ直す時間となった、今朝の全校集会。校長先生から大切なお話を教えていただきました。

朝食や夕食、給食の時間に言う、「いただきます」と「ごちそうさまでした」というあいさつ。普段、あたりまえのように使っている、これらのあいさつの中に、大きな意味があることを、改めて感じることができました。

はじめに、校長先生から、質問がありました。それは、()の中には、どんな言葉が入るのかということでした。考えが浮かんだ人が、自信をもって手を挙げ、発表をしてくれました。全校がいる中で、自分の思いを言えるってすてきです。

「(**命**)をいただきます」
「(**命**)をごちそうさまでした」

()の中に入るのは、「**命(いのち)**」であることを知った全校のみなさん。「それは、どうしてなんだろう？」という問いを感じながら、校長先生のお話を聴き進めていきました。「ご飯(お米)は、もともと植物であること」「ステーキは、もともと牛であること」「ハンバーグやとんかつなどは、もともとぶたであること」「唐揚げは、もともと鳥であること」を改めて考え、その**全てのもとは、「命」**であることを強く感じることができました。また、海や湖、川で生きていた魚の命をいただいている私たち、畑で生きていた野菜の命をいただいている私たち。

そんな私たち「人間」は、たくさんの命をいただかないと生きていくことはできないことが、よくわかりました。「様々なものからいただいている命」は、決して自分だけのものではありません。だからこそ、大切にしなければならないのです。

全校のみなさん、これからも**自分はもちろん、家族や友だち、周りの人々、全ての人の命を大切に大切にしていましょ。そう、「みんなの笑顔のために」。**